

我等は我國資本主義の現段階に直面する経済闘争には多くの困難が存在するを否定せざるを得ないが、此の段階は必然としてこれを克服する所であり、我が無産階級運動の行くべき道を発見する所である。我等は此時に於ては、我無産階級運動の鋭化の方向を次の如くに決定し、此に組合同盟存立の意義を確立せんとするものである。

- 一 組合同盟は階級的立場を徹守して、経済的搾取と政治的弾壓に對抗することに依つて我無産階級運動の指導方針を確立する。
- 二 斯くして経済戦線に於ける闘争に依り、未組織労働大衆を階級的に組織する。
- 三 労働者連合の拡充を以て全無産階級の闘争力を階級的に結成し、以て我等の闘争力を集中する。

(五)

我が組合同盟は所謂左右両翼の抗争に依つて混沌状態に置かれたる吾國無産階級陣営内に出現して以来、彼等の誤れる指導精神と激烈なる闘争を敢行し、創立後日尚浅きに拘らず、無産大衆の甚大なる信頼を勝ち得た。

我等はその最初に宣言せる正道確立の名に背かざるを確信する。

右宣言す

昭和二年四月十一日

日本労働組合同盟

第一回全國大會

綱領

- 一 我等は團結の威力により労働條件の維持改善を計り更に我國労働階級をその被搾取的地位より完全に解放せんことを期す。
- 二 我等は飽くまで階級的立場を嚴守し資本家階級の弾壓に對し徹底的に闘争せんことを期す。
- 三 我等は之がたゞ労働階級の鞏固なる組織と明確なる意識と鉄の如き訓練とを以て適確なる戦術と勇敢に遂行せんことを期す。

主 張